

答え合わせ・解説

問1	答え 1 文殊	「三人寄れば文殊の知恵」の「文殊」の部分が入ります。意味は「凡人であっても、三人集まって相談すれば素晴らしい知恵が浮かぶものだ」です。
問2	答え 1 爪を隠す	「能ある鷹は爪を隠す」の続きは「爪を隠す」です。意味は「実力のある人は、それをひけらかしたりしないこと」です。
問3	答え 2 相手が好意を示せば、こちらも好意で応じる気持ちになるということ	「魚心あれば水心」は「相手が好意を示せば、こちらも好意で応じる気持ちになるということ」という意味です。
問4	答え 2 三文の徳	「早起きは三文の徳」の続きは「三文の徳」です。意味は「朝早く起きると、健康によかったり少しだけ良いことがあるということ」です。
問5	答え 2 一兎	「二兎を追う者は一兎をも得ず」の「一兎」の部分が入ります。意味は「欲を出して同時に二つのことをしようとすると、どちらも失敗する」です。
問6	答え 1 尻隠さず	「頭隠して尻隠さず」の続きは「尻隠さず」です。意味は「悪事や欠点の一部を隠したつもりで、全体が隠れていないこと」です。
問7	答え 4 地固まる	「雨降って地固まる」の続きは「地固まる」です。意味は「揉め事のあと、かえって前よりも良い状態になること」です。
問8	答え 3 一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ	「二度あることは三度ある」は「一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ」という意味です。
問9	答え 1 似た者同士は自然と集まりやすい	「類は友を呼ぶ」は「似た者同士は自然と集まりやすい」という意味です。
問10	答え 2 虎子を得ず	「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の続きは「虎子を得ず」です。意味は「危険を冒さなければ、大きな成果は得られない」です。
問11	答え 2 筆	「弘法も筆の誤り」の「筆」の部分が入ります。意味は「その道の達人であっても、時には失敗することがあるということ」です。
問12	答え 2 提灯	「月夜に提灯」の続きは「提灯」です。意味は「明るい月夜に提灯を下げてでも無駄であるように、不必要なことのたとえ」です。
問13	答え 2 棒	「犬も歩けば棒に当たる」の「棒」の部分が入ります。意味は「何かをしようと行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある」です。
問14	答え 4 一步	「千里の道も一步から」の「一步」の部分が入ります。意味は「どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ」です。
問15	答え 2 苦し	「良薬は口に苦し」の「苦し」の部分が入ります。意味は「自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ」です。
問16	答え 1 猿	「猿も木から落ちる」の「猿」の部分が入ります。意味は「その道に優れた名人でも、時には失敗することがある」です。
問17	答え 1 苦勞せずに思いがけず利益を得ること	「濡れ手で粟」は「苦勞せずに思いがけず利益を得ること」という意味です。
問18	答え 3 まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること	「捕らぬ狸の皮算用」は「まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること」という意味です。
問19	答え 4 団子	「花より団子」の続きは「団子」です。意味は「風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること」です。